

広報が繋ぐ地域支部と大学

大変なタイトルの課題を与えられ困惑しているところですが、大袈裟に構えないで支部もしくは地域支部における広報紙等の発信を通して、如何に大学の情報なり今様の姿なりを校友に伝え、また校友の母校賛助の気持ちを高揚できるか等の観点から、校友会HPや多摩支部広報紙等の発信に携わっている経験から記してみたいと思います。

1：広報紙及びHP発信の目的

支部及び地域支部広報紙等の発信の目的は、言うまでもなく情報の伝達を通して親睦・交流の輪を広げ、母校賛助を図り「明治はひとつ」を推進することであり、校友同士・校友と学校を繋げる基盤のひとつであると考えております。

2：HP・広報紙等発信の現況

① HPの開設状況

平成26年1月時点で機能している支部HPは19支部、地域支部は69となっているが、最新に更新されているところは僅かであります。

② 広報紙の発行

支部・地域支部における広報紙の発行実態の把握はなされておられませんので、以下2事例を紹介いたします。

イ、支部会報の発行事例

「多摩支部会報」の発行は、平成21年からであり、基本的には、年度総会時に10ページ程度のものを、そして季刊誌的にはA3版片面のものを年4回程度発行しております。

配布方法は定時総会時には500部を季刊誌的には80部発行しております。

内容的には、年1度もしくは年4回の発行であり、時期的にずれたりする記事もありますが、新設地域支部の紹介や母校の大きな出来事及び野球・駅伝・ラグビー等の成績やOBの活躍等、そしてスポーツ応援や紫紺ネットの普及宣伝・各種募金などを記事にしております。

ロ、地域支部会報の発行事例

町田地域支部では年2回A3版4ページの季刊誌と5年毎の周年記念誌を発行しております。内容は、地域支部の出来事・同好会記事・大学関係記事であります。特に周年誌は地域支部の歴史・活動記録・投稿記事を取り上げ、30周年記念誌はA4版150ページの大作でした。

3：課題

上記に記したように、HP及び広報紙は一部の支部等では発信されていますが果たして全支部・地域支部ではどの位発信されているのか定かではありません。加えて、広報紙は発行されていてもその配布対象は、校友でなかつ当該支部及び地域支部会員に限定されており、未加入の校友（町田の場合94%）には情報が届かないということです。未加入校友には、大学発行の「明治大学広報」もしくは「ネット検索」のみ

だという問題です。

また、HPは情報内容が更新されていないものが結構あり、やはり立ち上げても「更新」がなされないのでは再度見てもらえないのではと思われます。

広報の果たす役割を踏まえた時、今はITの時代であり、この「紫紺ネット」の拡大・充実が真に重要だと考えております。

多摩支部会報

町田 30 周年誌

